

競技会の進行

1. 本大会は2026年度(公財)日本陸上競技連盟規則に準ずる。
2. トラック種目の組み合わせ、レーン順およびフィールド種目の試技順は、主催者において定める。
3. フィールド競技の試技順は、プログラム記載通りとする。
4. 本競技会は、第80回国民スポーツ大会の選考競技会とする。

競技への参加

5. 各学校の陸上部顧問または所属校の教諭、学校長が認めた責任者による引率のない場合、出場を認めない。
6. 競技者の招集は以下のとおり行う。招集所はゴール地点後方のゲートを出て、右手前方付近に設置する。

	開始時間	完了時間	リレー種目のオーダー提出
トラック	30分前	20分前	招集完了60分前
フィールド	40分前	30分前	

代理人による手続きは認めない。種目をかねて出場する者はその旨を競技者係および審判員に申し出て競技の進行に妨げがないようにする。

リレー種目では、オーダー用紙を招集完了60分前までに招集所の競技者係まで提出する。提出後のオーダー変更は原則として認められない。

リレーのオーダーは、出場するメンバーのうち少なくとも2名は、リレーに申し込んだ競技者でなければならない。

招集時間に遅れた場合、出場の意思がないものとみなし、棄権として扱う。競技には参加できない。

7. アスリートビブスはユニホームの胸・背部に確実につける。ただし跳躍競技の場合はどちらか一方で良い。
アスリートビブスの番号は、太い字で書く。3000m以上はレーンナンバーとアスリートビブスを用意すること。
*トラック種目(リレー種目は第4走者)では、レーンナンバーを右腰部につけ使用する。レーンナンバーは各自準備する。また、決勝に進んだ場合に備え、各自番号の記入のない白布を用意すること。
*4×400mRでは、第2走者と第3走者もレーンナンバーを右腰につけ使用する。

トラック種目

8. 4×400mRは第二走者の第一曲走路まではレーンを用いる。第三走者からは前走者が第3コーナー(200mのスタート地点)を通過した順序で、内側より並び待機する。その後、この順序を変えてはならない。違反した場合は失格とする。
9. スタートについて競技規則162条5(a)(b)(c)を行った時、イエローカードを示し、警告を与える。ただし、(c)のいわゆる「ピクつき動作」を行った場合、最初は注意に留めるが、繰り返し行う場合はイエローカードを示し、警告を与える。累積2枚のイエローカードを受けた競技者は当該競技を失格とするが、それ以後の種目の出場を妨げない。
10. 800m以上の種目において、招集の際に靴底の厚さの確認を行います。レースに使用するシューズを持参の上、招集所に集まること。*公認シューズについてはHPを参照すること。

フィールド種目

11. 競技用具は競技場備えつけの物を使用する。但し、持参した用具で使用を希望する場合は本部にて検定を受け、使用の許可を得ること。またその場合、他の競技者にも使用させねばならない。
12. フィールド種目の練習は、審判員の指示に従って行う。
13. 走高跳のバーの上げ方は以下のようにする。

男子	1.40(練習)	1.45 1.50 1.55 1.60 1.65 1.70 1.75 …以降3cm
女子	1.15(練習)	1.20 1.25 1.30 1.35 1.40 1.45…以降3cm

競技開始の高さについては、天候・練習状況などにより、審判長の判断で変更する場合がある。表に記載されていない高さについては審判長の指示に従う。

14. 棒高跳・走高跳以外のフィールド競技(跳躍種目)において、試技は3回とし、上位8名はさらに3回の試技が与えられる。また、開始時選手が8名以下の場合、無条件に6回の試技が与えられる。
15. 三段跳びの踏切は、男子11m・女子9mとする。

抽選・決定レース

- 16.本大会では、トラック種目において同タイムの場合、写真を拡大し精査する。その際1000分の1秒以上差があれば着差ありと認める。着差が認められない場合は抽選において次のラウンド進出者を決定する。
- 17.トラック種目の決勝レースにおいて同タイムの場合は、順位決定レースを実施することがある。但し、同組において同タイムの場合、着差を優先する。

ウォーミングアップエリアについて

- 18.本競技場は、ウォーミングアップのスペースがないため、競技に支障のない範囲で、第2コーナーから第3コーナーまでの5レーンから8レーンまでをウォーミングアップエリアとして開放する。室内練習場もアップで使用できる。※競技場外では、ジョグと体操のみとする。ドリルなどは一切禁止。

助力について

- 19.ビデオ装置、レコーダー、ラジオ、CD、トランシーバーや携帯電話、もしくはそれらに類似した機器を競技区域内で所持または使用する事は、助力とみなされ許可しない【競技規則TR6.3.2】

撮影について

- 20.競技場内でカメラやスマートフォンなどを用いて撮影を行う場合は、必ず周囲から見えるようにADカードを着用してください。着用していない場合は、撮影することができません。撮影の際、ADカードを身につけていない場合や不審な状況が見られる場合は、役員から声をかけることがある。
- 21.競技者が最高のパフォーマンスを発揮できる環境を整えるため、競技者が不快や不安を感じる恐れのあるすべての方向からの撮影や行動を禁止とする。

入賞および都大会への申し込み

- 22.各種目上位8名(8チーム)には、賞状を授与し、都大会への出場権が与えられる。直接種目の標準記録は下の一覧表を参照のこと。
- 23.都大会の申し込みは、大会2日目の14:30頃より競技場内で行う。また、同日競技場内において駒沢公園総合運動場の入場整理券を配布する。希望する学校が多数の場合は抽選を行う。また申し込み受付、入場整理券配布の時間について、大会の進行状況により変更もあり得る。

その他

- 24.競技中に事故が発生した場合、その学校の責任において処理を行って下さい。
- 25.陸上競技場以外の施設は利用できません。他の施設には立ち入らないこと。特に競技場出入口前の洋弓場付近の芝生には絶対に立ち入らないこと。
- 26.ゴミは必ず各学校で責任をもって持ち帰ること。ペットボトル・缶のリサイクルボックスに一般のゴミを捨てた場合は、今後大会の参加を認めないこととする。
- 27.その他不明な点は大会本部の支部長に確認すること。
- 28.タイムテーブルなどの変更もあり得るので、高体連第4支部HPをチェックし場内放送にも注意すること。

都大会直接種目標準記録一覧

男子		女子	
110mH	17"00 以内の記録を有する者。 1 年生に限り、昨年度中学規格 (91.4cm/9.14m) U16 (99.1cm/9.14m) で16"00 以内の記録を有する者。	100mH	17"00 以内の記録を有する者。 1 年生に限り、昨年度中学規格 (76.2cm/8.00m) U16 (76.2cm/8.50m) で16"00 以内の記録を有する者。
400mH	59"00 以内の記録を有する者。	400mH	1'13"00 以内の記録を有する者。
3000mSC	10'10"00 以内の記録を有する者。	5000mW	参加標準記録は設けない。 (スタート後 38 分で次の周回には入れない。)
5000mW	参加標準記録は設けない。 (スタート後33分で次の周回には入れないものとする。)また、出場者が27名を超えた場合、資格記録を基に出場者を制限することがある。	4×400mR	4'23"00 以内の記録を有する者。 *令和8年3月卒業のメンバーを含んだ記録は認めない。
八種競技	令和7年度4月1日以降に公認記録で3500点を越えた者、あるいは八種競技の種目中必ず1種について、令和7年度東京都高校50傑表基準記録に入っている者、もしくは相当の記録を有する者。1年生においては中学四種競技で2200点以上、もしくは1種目は高校50傑基準記録に相当する記録(令和7年4月1日以降に出した公認記録)を有する者。ただし、高校と同一規格の記録であること。(中学規格のハードル、砲丸の記録は除く)	七種競技	令和7年度4月1日以降に公認記録で2500点を越えた者、あるいは七種競技の種目中必ず1種目について、令和7年度東京都高校50傑表基準記録に入っている者、もしくは相当の記録を有する者。1年生においては中学四種競技で2200点以上、もしくは1種目は高校50傑基準記録に相当する記録(令和7年4月1日以降に出した公認記録)を有する者。ただし高校と同一規格の記録であること。(中学規格のハードル、砲丸の記録は除く)
棒高跳	3m40 に到達している者。	棒高跳	2m20 に到達している者。
ハンマー投	標準記録を定めない。	ハンマー投	標準記録を定めない。
		三段跳	10m20 に到達している者。